全調政連 ニュース　No. 2026-06

R8. 10. 19　　発行責任者　幹事長　久保田英裕

全国土地家屋調査士政治連盟ホームページ https://zenchoseiren.net

自民党議連「狭あい道路解消小委員会」開催

日　時　令和８年 10 月 15 日（木）13：30～14：30

場　所　自由民主党本部７０１号室

この度、自民党会館に於いて自民党議員連盟所属議員（秘書含）はじめ国土交通省、そして法務省民事第二課にもご出席いただき、狭あい道路解消小委員会が開催され闊達な意見交換が行われた。

1.　開　会　狭あい道路解消 PT 事務局長　　宮路拓馬　衆議院議員

2.　挨　拶　土地家屋調査士制度改革推進議員連盟事務局長　柴山昌彦　衆議院議員

狭あい道路解消 PT 座長　　井林辰憲　衆議院議員［国土交通大臣］

3.　議　事　「狭あい道路対策の現状と課題について」

進　行　狭あい道路解消小委員会事務局次長　　宮本和宏参議院議員

4.　説　明　国土交通省住宅局　審議官　　豊嶋太朗　氏

国土交通省住宅局市街地建築課長　　松井康治　氏

5.　質　疑　３名の方の意見を記載

① 東京都選出議員：「狭あい道路」はまだ広く認知された言葉ではないが、いま求められている「災害に強いまちづくり」は空家問題、少子高齢化、そしてこの「狭あい道路対策」は全てに共通点があり、差し迫った問題として当 PT 委員会の果たす役割は大きい。

② 石川県選出議員：一昨年からの能登半島地震や集中豪雨被害地は、ややもすれば集落の解体、消滅さえも囁かれている昨今、広く全国の皆さんに現在の状況を知っていただきたく、貴会で進めている「狭あい道路解消シンポジウム」を是非、石川能登で開催して頂きたい。

③ 北海道選出議員：建築基準法に於いて狭あい道路は、20～30 年かけてセットバックにより狭あいを解消する制度設計となっているが、昨今の気候変動等による緊急性を要する「災害に強いまちづくり」はもう少しスピード感を持って進めるべきと考える。国交省からガイドライン等も出来ており、国としての「課題とその取組み」は既に方向性が出ているとすれば、支援も含めもっと深堀りをすべきだ。

6.　挨　拶　全国土地家屋調査士政治連盟：椎名会長

狭あい道路解消問題は 8 年前から取り組んできました。議連の先生方のお力も借りながら地道にコツコツと地方議員の方々を初め自治体の担当者への勉強会等を通じ活動を続けて参りました。その結果、一昨年国交省からガイドラインを発出していただきました。今後は、私どもの組織力を生かし全国の自治体への働きかけを、より一層強めていきたいと思っています。

この活動は一気に進むとは考えていませんが、土地家屋調査士業界として中長期のスパンで考えて行きたいと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

最後になりますが、あす愛媛県松山市に於いて今年で第 4 回を迎える「**狭あい道路解消シンポジウム in 愛媛**」を開催します。

今回もまた大きな成果を期待しているところです。

7.　土地家屋調査士関係の出席者

・日本土地家屋調査士会連合会：岡田会長　以下 4 名

・全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会：望月副会長　以下 2 名

・全国土地家屋調査士政治連盟：椎名会長　以下 3 名

（原稿：全国土地家屋調査士政治連盟狭あい道路解消 PT 委員・髙本茂）

